

はじめに

現在わが国では、規制・制度改革、地域主権改革、公益法人制度改革をはじめとする、社会、経済全体にわたる改革が進められ、戦後培ってきたさまざまなシステムが大きく変わろうとしています。社会保障・社会福祉制度についても、各種の制度改革が進められようとしており、そのなかでは多様な事業主体の参入促進や、それにとともなうイコールフットイングの確保といった観点から、社会福祉法人の存在意義について議論される場面も増えています。このように、社会福祉法人経営を取り巻く環境は大きな変革期にあります。

こうした中で、社会福祉法人がその存在意義を発揮していくためには、社会福祉の主たる担い手としての役割だけではなく、地域社会の福祉の増進に寄与することで、地域社会から支持を得ていくことが必要です。すなわち、これからの法人経営においては、良質なサービス提供を行うことはもとより、公共性・公益性の高い法人として透明性の確保に加え、より積極的に地域のさまざまなニーズに対応していくことや、他の主体では取り組むことが難しい公益的かつ先駆的な取り組みが必要となると考えます。

本会では、社会福祉法人の使命である「地域社会における福祉の増進」の一環として、公益的な取り組みに対する会員法人における理解と実践を進め、社会福祉法人の存在意義について広く理解を得ることを目的に「1法人（施設）1実践」事業を提唱、推進しています。平成16年度から会員法人による地域に向けた公益的取り組み事例を募集し事例集を作成してまいりました。本冊子はその6冊目の事例集となります。

本事例集が社会福祉法人制度に対する理解促進の一助となるとともに、地域での福祉の増進に向けた取り組みの参考として、ご活用いただければ幸いです。あわせて、各法人が取り組む公益的な取り組みを、法人の事業計画・報告に掲載していただくことを、ぜひともお願いいたします。

最後になりましたが、事例集の作成にあたりご協力いただきました会員法人のみなさまに心よりお礼申し上げます。

平成22年11月

全国社会福祉施設経営者協議会 会長 高岡 國士